



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

WEB版

株主通信

2015年3月期

第1四半期

2014年4月1日～6月30日



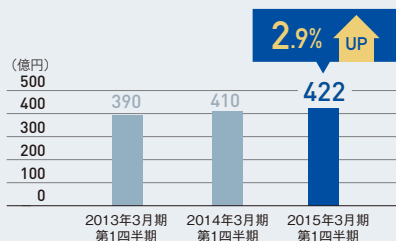
さらなる成長軌道へ。
新しい楽しさと感動が、
はじまります。

株式会社スカパーJSATホールディングス

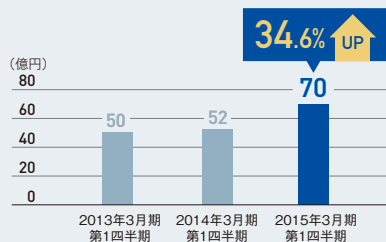
2015年3月期第1四半期 ハイライト

- 営業収益は視聴料収入増により2.9%の増収
- 営業利益はハイビジョンサービスへの加入者移行費用や減価償却費の減少等により34.6%と大幅増益

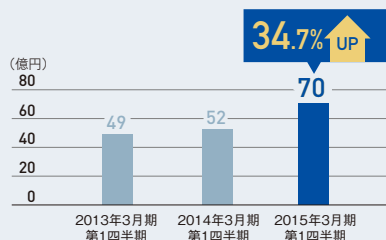
営業収益



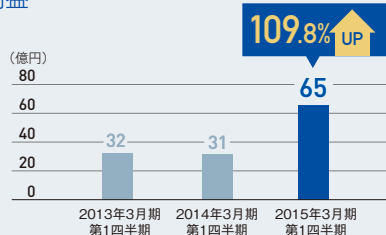
営業利益



経常利益



四半期純利益



株主の皆様へ

TOP MESSAGE

2014年8月
代表取締役社長

高田真治

2015年3月期 第1四半期の業績

中長期的な成長戦略を着実に推進し、
前期比増収増益を達成しました。

わが国の経済が総じて緩やかな回復を続ける中、当社グループは着実に成長軌道を進んでいます。

有料多チャンネル事業においては、5月末に「スカパー！プレミアムサービス」における標準画質放送(一部のチャンネルを除く)を終了し、積年の重要課題であった標準画質からハイビジョンサービスへのお客様の移行が完了いたしました。移行については、標準画質放送の終了時期を当初計画より1年近く前倒ししながらも、移行件数は当初の計画より約2万件多く、一方費用面では計画を大きく下回って達成することができました。これまで移行施策に費やしてきたリソースを、今後は加入規模拡大へ向けた諸施策に投入してまいります。宇宙・衛星事業においては需要が増大しているグローバルビジネスの強化とモバイルビジネスの拡大などを推進しました。

その結果、当第1四半期において、営業収益は視聴料収入の増加等により前年同期比2.9%増の422億円、営業利益はハイビジョンサービスへの加入者移行費用や減価償却費が減少したことなどにより前年同期比34.6%増の70億円となり、増収増益となりました。

さらなる変革と成長に向け、 順調なスタートを切りました。



加入者獲得に向けて

商品力強化により、
加入者の獲得を強力に進めます。

当第1四半期の「スカパー!」3サービス合計の新規加入件数は前年同期比2.6万件減の10.5万件でした。また5月末の標準画質放送サービス終了に伴う解約25.2万件が発生した結果、24.8万件的純減、累計加入件数は346.8万件となりました。

新規加入増と解約抑制、さらに視聴料収入の増額にはコンテンツ強化、商品力の強化が不可欠です。海外サッカーは当社の主力コンテンツのひとつですが、8月からの新シーズン開幕を機に海外サッカー商品の改編を行いました。これにより、シーズンの異なる欧州サッカーとJリーグを組み合わせた商品をリーズナブルな価格でご提供することで、お客様に年間を通してサッカーを楽しんでいたくとともに、シーズン終了毎の解約抑制効果も期待しています。

また、3月に販売開始した、対象45チャンネルからお好きな5チャンネルを選択いただける「スカパー!セレクト5」は順調に契約数を伸ばしており、新規加入者の平均視聴料単価の引き上げにも寄与しています。

中長期の成長に向けた取り組み

中期経営計画（～2016年3月）の達成と長期的な成長に向け、さらなる変革に果敢に取り組めます。

6月より、次世代放送推進フォーラムによる、当社衛星を利用した4K試験放送「Channel 4K」が開始されておりますが、当社もできるだけ早期に日本初の4K商用本放送を開始すべく準備を進めています。また、2月にインドネシアで開局した日本コンテンツ専門チャンネル『WAKUWAKU JAPAN』は、6月からはミャンマーでも放送を開始しました。さらに他のアジア諸国への展開も検討していますが、広告・イベント収入、物品販売やeコマース事業等による収益スキームの早期確立も目指します。

宇宙・衛星事業においては、中期経営計画達成の必須条件でもある後継衛星の調達管理を着実に進めるとともに、アジアを中心としたグローバルサービスのさらなる拡大と、世界的に需要が増大している航空機や船舶向けのモバイル事業の拡大を図ります。

最後に、6月中旬から7月初旬にかけて、「スカパー!サービス」システム障害のためお客様に多大なるご迷惑をおかけしたことを改めて深くお詫び申し上げます。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2014年度 連結業績 予想

(単位:億円)

	営業 収益	営業 利益	経常 利益	当期 純利益
2013年度(実績)	1,716	217	215	96
2014年度(予想)	1,635	180	175	120

連結財務諸表

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	(参考)2014年3月期
	第1四半期 (4/1~6/30)	第1四半期 (4/1~6/30)	通期 (4/1~3/31)
営業収益	① 41,044	42,239	171,683
営業原価	27,142	26,852	111,252
営業総利益	13,902	15,386	60,430
販売費及び一般管理費	8,691	8,370	38,717
営業利益	② 5,210	7,015	21,713
営業外収益	227	205	634
営業外費用	192	153	817
経常利益	5,246	7,067	21,529
特別利益	74	988	78
特別損失	10	193	3,064
税金等調整前当期純利益	5,310	7,863	18,543
法人税等合計	2,169	1,283	8,960
少数株主損失(△)	1	△7	△76
当期純利益	3,140	6,587	9,659

1

ハイビジョンサービスへの加入者移行の進捗による視聴料収入の増加や国際衛星通信サービス、ハイビジョンサービス向け放送トランスポンダー収入の増加により、2.9%の増収となりました。

2

ハイビジョンサービスへの加入者移行の費用や衛星減価償却費の減少等により、34.6%の増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	(参考)2014年3月期
	第1四半期 (4/1~6/30)	第1四半期 (4/1~6/30)	通期 (4/1~3/31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,938	8,927	33,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,456	△1,642	△18,969
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,899	△2,759	△25,444
現金及び現金同等物の期末残高(a)	83,208	68,284	63,783
有利子負債期末残高(借入金+無担保社債)(b)	47,801	③ 45,335	45,994
純有利子負債期末残高(b)-(a)	△35,407	△22,948	△17,789

3

前期末に比べて現金及び現金同等物は増加しました。また、現金及び現金同等物の期末残高は有利子負債期末残高を229億円上回り、実質無借金が継続しています。



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	(参考)2014年3月期
	第1四半期末 (6/30)	第1四半期末 (6/30)	期末 (3/31)
資産の部			
流動資産	111,068	107,068	109,908
固定資産	181,404	174,469	177,672
有形固定資産	137,462	141,591	140,347
無形固定資産	11,885	10,286	10,704
投資その他の資産	32,055	22,592	26,620
資産合計	292,473	281,537	287,580
負債の部			
流動負債	53,026	64,196	74,238
固定負債	44,923	28,793	28,662
負債合計	97,949	92,990	102,900
純資産の部			
株主資本	193,538	187,534	182,793
資本金	10,000	10,000	10,000
資本剰余金	158,193	158,193	158,193
利益剰余金	29,228	38,469	33,728
自己株式	△3,883	△19,128	△19,128
その他の包括利益累計額	582	698	1,558
少数株主持分	402	314	327
純資産合計	194,523	188,547	184,679
負債純資産合計	292,473	281,537	287,580

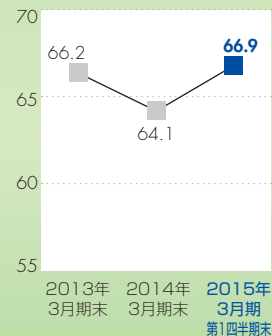
④

自己資本比率*は前期末と比較して2.8ポイント増の66.9%と、引き続き高い財務安定性を維持しています。

※自己資本(純資産-少数株主持分)÷総資産

自己資本比率

(%)



海外サッカー商品を
改編!

「欧州サッカーセット」と「欧州&Jリーグセット」で
年間を通じてサッカーをお楽しみいただけます。

サッカー観戦に
オフは
ありません。



これまで「スカパー!」と「スカパー!プレミアムサービス」でそれぞれ2つつ計4つの海外サッカー商品を提供してきましたが、2014年8月1日より、これらの4商品を「欧州サッカーセット」3,980円、「欧州&Jリーグセット」5,980円の2商品にわかりやすく改編しました。

欧州サッカーは7月中旬以降に順次シーズンが始まり、翌年5月で概ね終了します。Jリーグは3月に始まり12月で終了します。欧州リーグとJリーグを組み合わせた「欧州&Jリーグセット」では、年間を通して切れ目なくサッカーを楽しんでいただけます。



スカパー!オンデマンドを
主要サービスへ

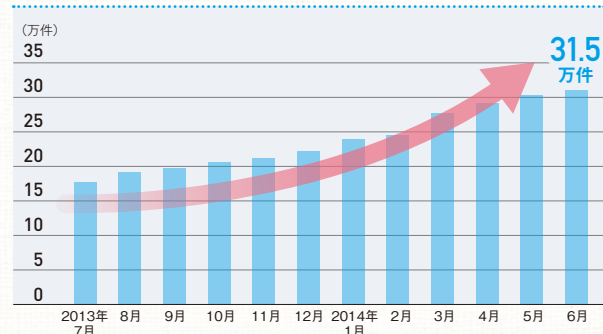


衛星放送の契約もあると
お得に見られるのね!

登録会員数は31.5万件。チャンネルも増加し、
主要サービスへ成長中です。

「スカパー!オンデマンド」は、衛星放送サービスの補完的サービスとしてスタートしましたが、6月末現在で登録会員数は31.5万件となり、新たな主要サービスへと着実に成長しています。また、59チャンネルのコンテンツを揃えており(7月2日現在)、欧州サッカーでは、柿谷曜一朗選手がプレーするスーパーリーグやブンデスリーガなど視聴できるリーグも増えています。視聴スタイルの多様化が進む中、他の動画サービスとの差別化を図るために、当社の強みであるJリーグなど独自コンテンツの強化や、放送に先駆けての配信など独自の展開も考えています。

登録会員数の増加



宇宙・衛星事業

Space&Satellite Business

アジア最大の
衛星通信事業は、
まだまだ成長中。

グローバル市場への
取り組み強化

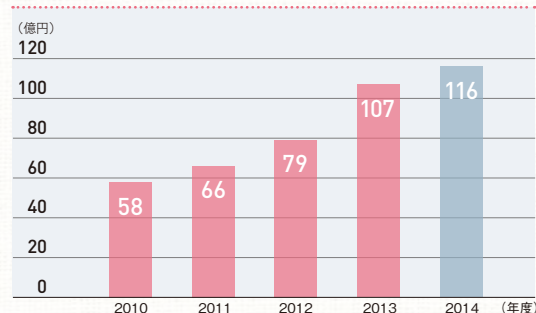


海外衛星ビジネスの拡大を一層加速します。

海外ビジネスでは、地上回線の未発達なエリアが多く経済成長が目覚ましいインドネシアやロシアにおいて、衛星放送や携帯電話の基地局間通信における衛星通信回線需要が拡大しています。当社もグローバル展開をさらに加速するために、新たな軌道権益*の確保やM&A、共同衛星の調達・保有といった戦略的な事業拡大を促進するための「グローバル企画部」を創設しました。2014年度は宇宙・衛星事業の売上の20%超をグローバル事業で上げることを目指しています。

*軌道権益については下のコラム参照

グローバル事業の売上



COLUMN

“軌道権益”って何だろう？

宇宙・衛星事業の成長のためには、軌道権益の確保が重要なテーマとなります。衛星ビジネスを不動産に例えると、軌道権益は土地の所有権にあたり、衛星は建物にあたります。土地がなければ建物は建てられないように、軌道権益がなければ衛星を打ち上げることはできません。それでは、新しい軌道権益を確保すればよいということになりますが、現在、地球の静止軌道上には各国が打ち上げた約470機もの人工衛星が存在し、新たな軌道権益の確保は難しい状態となっています。このように、軌道権益は全世界共有の資産であるとともに有限な資源であることから、各国がルールに則り安全に利用できるように、国連の

専門機関である国際電気通信連合 (ITU) が国際的に管理しています。ちなみに、スカパーJSATは北米上空からインド洋上空まで、計16機の衛星を保有しています。



軌道権益は土地の所有権、
衛星は建物みたいな
ものなんだね。

各ジャンルのおすすめ!!



映画
Movie



スポーツ
Sports



音楽
Music



アニメ
Animation



ドラマ
Drama



エンターテインメント
Entertainment



ドキュメンタリー・ニュース
Documentary / News



趣味・娯楽・外国語
Hobby / Culture / Foreign language

スカパー!のお得なキャンペーン情報

詳しくはWebへ

<http://www.skyperfectv.co.jp/guide/campaign/>

キャンペーン ①

WEB割

今なら
新規ご加入で

1,000円を割引!

キャンペーン ②

基本パック

ご加入翌月の
視聴料が今なら

通常価格
3,672円/月

1,980円/月
(1,692円割引!)

キャンペーン ③

スカパー!
アンテナ取付サポートキャンペーン
新規ご加入いただき、1年以上のご契約で

BS対応
スカパー!アンテナ

標準取付工事

5,000円でご提供

2014年9月30日まで(手続き完了分まで)



SKY Perfect JSAT Holdings Inc.

www.skyperfectjsat.co.jp

